



発行所 田代町公民館電19

発行責任者 小川原前一
編集責任者 兵勇孝

10月号

印刷所 鹿屋市 新生社印刷所
電2238

今月のこよみ

- 1日 法の日、統計記念日
9日 寒露
10日 目の愛護
14日 鉄道記念日
17日 貯蓄の日
23日 靖国神社秋例大祭
24日 霜降

主な行事

- 初旬 新聞週間
下旬 交通安全週間
／ 結核予防週間
／ 読書週間
10月 7日 田代小運動会
10月 9日 成人学級
10月 10日 田代校区婦人学級
10月 13日 大原小中運動会
10月 21日 川原保育園運動会

赤い羽根
共同募金月間

くらしのしおり

として保存しましょう。

天高く馬肥ゆる秋

涼しい気候となり、心身共に晴々とする時期となりましたが収穫冬作の作付時期でもつとも忙しい頃となりました。

衣

だんだん日も短くなり寒い冬が近づいて来ます。ですが、冬の着物、夜具の手入れはねすみになりましたか。夏に虫ほしした衣類をよく調らべましょ。洗濯するものは早くすませ、毛織物、絹、ナイロン、テトロン等は布地のいたみを防ぐため中性洗剤で洗いましょ。

住

かけ干しと、アイロンかけは低い温度でかけましょ。これらのフトン作りは改良式、で敷きふとんを厚く、かけふとんは薄ての物を毛布の上に二枚、三枚重ねてねる方が身体になじみます。

食

農繁期となり時間的に多く働くなければならず、それに加えて労働のはげしさも格別ですのでそのため失われる栄養も大きいので、忙がしさにまぎれて食事作りの暇がない時期でつい食事がかたよりがちです。つとめて肉魚、卵等を多くとり併せて油類、青野菜等も多く食べいつも健康に気をつけ働きましょ。

水明

これは人にうそとかごまかしとあります。いまの世の中はうそでもさしつかえないようであるが、これはそぬことになり、赤字となつてあらの相手もまたうそだからである。わざとこうであるので、すうそとうそであるので、すきになくとどこおりもない。だがもしもうそをもつて実に対するときは、すぐしさを生ずるものである。たとえば百枚の紙を一枚つかえを生ずるものである。たとえば百枚の紙を一枚とつても知れないようであるが、九十九枚目になつて五寸切つても同様であり、九十のない生活が営まれてゐるが、百間のなわ不足する。また百間のなわとがわかる。このため、住いの事はおきざりにしがちです。子供にも、年令能力に応じた仕事の分担をさせ、予定をたてて働く。めいめい身の回りの始末をする。このようにしましょ。

この人の暮し方でも、一日一円とつて十五円つかい、二十円とつて二十しかし人と人との交渉ことはうそ十五円つかうときは、年の暮まではが多く、正直者がばかりみるとわからぬけれども、大みそかにう風があるが、眞実が尊ばれることなつてその不足がわかるのである。そ、明るく正しくみんなの幸福なうその実に対することのできな生活ができるのであります。ことは、このようなものである。

二宮翁語より。

今月の農事メモ



畜産

- 秋の飼料作物を早目に作り生産費用を下げる (青刈エンバク、イタリアンライグラス、コモンベツチ、レンゲ、クロバ、家畜カブ等)
- 気候の変化で感冒(かぜ)にかかりやすいから注意しよう。
- 秋ビナの育成夜間給餌を行う。
- 粗飼料として間引き野菜(てんさい)カンショの利用で飼料の節減を図る。
- カンショの利用で肉用家畜の肥育
- サイロの詰込み作業 (カンショ蔓又はイモ糖飼料)
- 生イモ生カンショ蔓の食べ過ぎは鼓膜症をおこしやすいから注意しよう。

- 普通水稻は適期に刈取つて品質の向上をはかりましょう。
- てんさいの間引は終りましたか
- てんさいの害虫発生に注意
- トウモロコシの駆除 (デイブテレックス乳剤 1000倍液)
- ナタネ苗床の種子まきを急ぎましょう。 50%苗位が適当

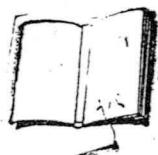
- 普通水稻は適期に刈取つて品質の向上をはかりましょう。
- てんさいの追肥 播種後2ヶ月目頃が第二回肥の適期です 硫安20kg、又は尿素9kg程度

中旬

上旬

読むことは内容の充実した人をつくる。書くことは正確な人をつくる。話すことは気転のきく人をつくる。すると云われることく、特に現代社会においては、内容の充実した人間をつくることが大切で、そのため蔵書数からして、郡内でもトップに位する本町公民館図書を大いに読んでいただき豊かな暮らしの友としてご活用下さい。

- ヤギ、メンヨウは発情の状態を見て種付をする。
- 仔牛の販売又は購入準備
- 豚の生産は登録豚で子豚は市場で売買ましょう。
- 和牛の生産は登録牛で種付は母牛に合った種牡牛を選びましょう。



仔牛価格は秋が最高

8月から上昇するのが例年の動きで和牛価格は下落するか、現に開催の仔牛せり市は芳しくない成績であるが、これは実は例年春から下げ相場に移行し、7月が最低8月から上げ相場に移り10月から11月が最高の曲線を画いている。

結局、仔牛相場は秋が最高で冬がこれにつぎ夏が底値を示すのである、即ち春から夏にかけての牛肉消費は停滞し、豚肉の消費がふえる傾向にあることがその原因と考えられる。

家畜市況

10月時報

○肉豚共販

区分 月日	共販頭数	生体量 K	枝肉量 K	歩留 %	枝肉代	枝肉精算金	生体K 当平均		芝浦価格 (上)	販売先
							生体量 K	枝肉量 K		
8 13	45	3.670	2.131.5	58	613.293	531.153	144	305	芝浦	
8 23	42	3.163	1.834	57	545.848	474.976	150	305	ク	
9 3	17	1.392	830.5	59	241.740	210.677	151	305	ク	

○子豚セリ市

上段メス

下段オス

区分 月日	出場頭数	売			却			普通豚平均登記 頭平均	総平均 (含本人 売却)	売却率 %
		頭数	価格	最高	最低	平均	売却平均			
8 25	7(12 5)	5(10 5)	32.000	3.700	2.700	3.100	3.200	普登	3.075	83
9 5	5(5)	4(4)	9.200	4.100	2.800	3.300	2.300	普登	2.280	80
9 15	6(15 9)	6(14 8)	40.400	5.900	1.100	3.483	2.885	普登	2.760	93